



・大田口保育所 親子遠足＆運動会・

10月30日、大田口保育所の園児親子で秦山公園（香美市）への遠足、ミニ運動会が行われました。

子どもたちは遊具で遊んだり、親子参加の運動会を楽しんだりと、例年とは違うイベントを楽しんでいたようでした。



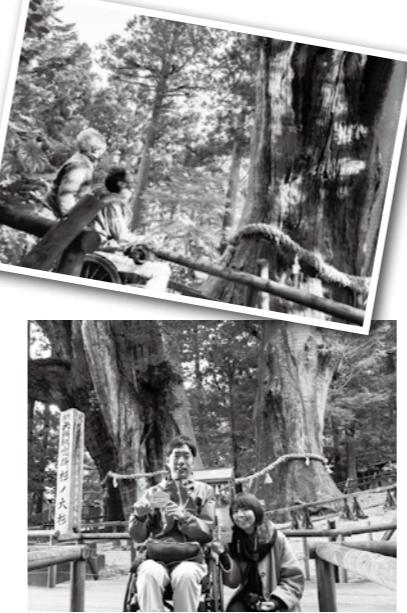
大豊に「インフルエンサー」が来た！

11月11日、車椅子トラベラーの三代（みよ）達也さんに杉の大スギの観光をしていただきました。

三代さんは、過去に車椅子で介助者をつけて単身で世界一周の旅をされており、訪れた観光地での様子についてSNSを活用して情報発信されています。

今回は、県が行っているバリアフリー観光の情報を全国に発信する事業の一環で、杉の大スギを訪れました。

世界一周をされた三代さんも、莊厳な霧氷や大スギの佇まい、醸し出すパワーに圧倒されおり、願掛けの絵馬には「どうにでも自由に行ける世の中になりますように」と願いを書いていました。インフルエンサー主にSNS上で世間に与える影響力が大きい行動を行う人物のこと



農業委員等永年勤続表彰を受賞・

11月16日、農業委員会長・事務局長會議において、農業委員の三谷晴喜さん（戸）が、一般社団法人高知県農業会議より永年勤続表彰を受けました。

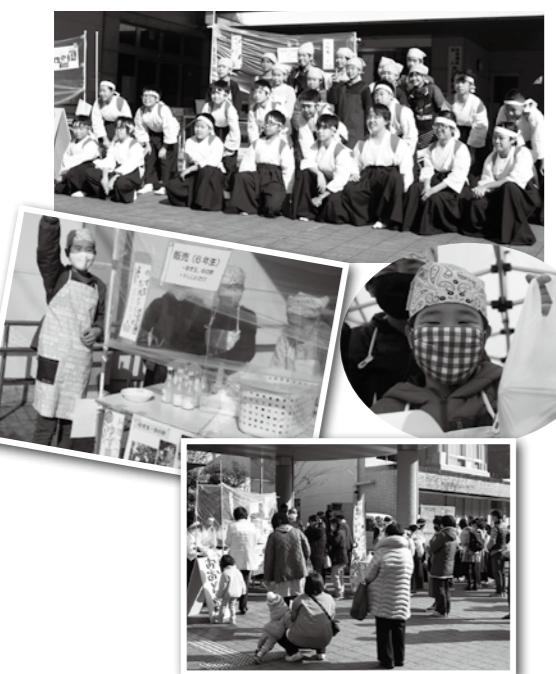
三谷さんは、平成22年から令和2年までの通算10年間にわたり、農業委員およ



中学校文化祭 開催

11月15日、大豊町中学校の文化祭が行われました。

オープニングで大砂子獅子舞保存会による「獅子の舞」、生徒による英語スピーチや学習成果の発表、生徒会活動、唱歌、ダンス、吹奏楽部の演奏、最後には全校生徒で合唱を行い締めくくりました。



村では困難であつた取り組みや嶺北地域の素材を組み合わせた旅行商品の造成などが行われます。今後は、交流人口の拡大や地域経済の活性化に向けて、嶺北地域を一つとした取り組みが行われることとなります。

おおとよ家 開催・

12月6日、おおとよ小児童高学年による「おおとよ家」が、穴内直販市とふれあいセンターで行われました。

例年、子どもたちが自分でつくった野菜やお米などをひろめ市場（高知市）で販売学習していましたが、コロナ禍のため規模縮小や場所変更を余儀なくされました。



び農地利用最適化推進委員を務められ、農地行政の執行や、農地などの利用の最適化に尽力、地域農業の健全な発展に貢献されました。

今後におかれましても、更なるご活躍を祈念いたします。

岩原ミニデイ日和・

11月20日、集落活動センター「絆の里・いわはら」を運営するいわはら地区活性化推進委員会婦人部によるミニデイが行されました。

当日は約30名が集い、保健師による健康相談や社協職員による体操、芸達者な下村幸子さんと下村早苗さんによる歌謡ショーなどが行われ、会場は盛り上がりました。

当日は約30名が集い、保健師による健康相談や社協職員による体操、芸達者な下村幸子さんと下村早苗さんによる歌謡ショーなどが行われ、会場は盛り上がりました。

嶺北4町村で観光協議会設立・

12月1日、嶺北4町村による広域観光組織「一般社団法人土佐れいほく観光」を設立しました。

広域観光組織では、土佐れいほく博で得た成果を継続しつつ、嶺北の自治体や観光施設、体験団体など、地域の関係者が主体的に参画した体制を構築し、これまで単独町

十三番地

十三番地

ゴルフ

タクシ

タクシ